

講演抄録

2012(平成 24)年 8 月 26 日(日)
鹿児島県生涯研修基本専門課程

日 技 認 定 講 師
Laboratory of Principia
Osseointegrated Implant Labocenter
齊木好太郎

【有床義歯技工学】

より良い床義歯を求めて

今日、世界的高齢社会をむかえている中で、歯科医療界においてもその影響を強く受け高齢者の欠損歯列を修復する症例が増加してきています。

このような状況下で、近年はインプラントによる修復が増加してきてはいますが、床義歯による修復もその需要が少なくなることはなく、より床義歯に対する関心度、重要度が高まりそれに伴って質の向上が強く望まれてきています。

より良い床義歯を製作するための技工上の要件としては、適合面ではいかに適合が良くしかも模型から取り外した後も変形の少ない重合方法、人工歯の位置、傾斜、咬合平面などを含めた咬合、審美面ではより自然に見える前歯部の排列、歯肉形成、デンチャーカラーリングなどが必要です。

そこで、より良い床義歯を作成するための一連の製作テクニックを述べさせていただきます。

以上